

# 芙蓉総合リース株式会社/地方独立行政法人三重県立総合医療センター/アズビル株式会社

三重県四日市市/医療業（実施場所）

芙蓉総合リースHP : <https://www.fgl.co.jp/>, 三重県立総合医療センターHP : <https://www.mie-gmc.jp/>, アズビルHP : <https://www.azbil.com/jp/>

補助対象経費 **2億3,629万円**

補助金 **8,813万円**

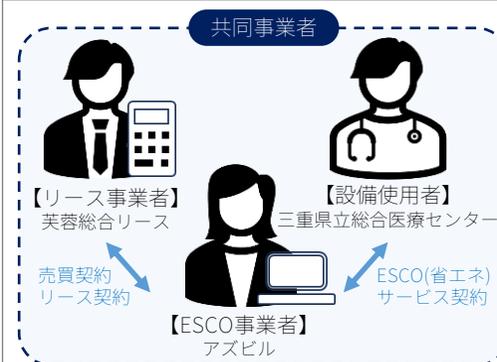
※金額は申請時の額

## 事業概要

本事業の実施場所である三重県立総合医療センターは、三重県四日市市にある地域の中核病院です。救命救急センター、周産期母子センターなど多数の専門センターを擁し、急性期医療や高度・特殊医療を提供しています。2012年に地方独立行政法人へ移行し、質の高い医療の提供と地域医療の充実に貢献しています。本事業は芙蓉総合リース株式会社、アズビル株式会社との3者による共同事業者としてESCO事業を実施しました。



## 省エネのPOINT



ESCO (省エネ)  
サービス契約書 抜粋

- ESCO事業者は、省エネ設備の導入から運転・維持管理、エネルギー削減量の保証、効果の計測・検証までを含むサービスを提供し、適切な管理と効果を保証します

本事業の実施内容

熱源設備更新	ターボ冷凍機 空冷モジュールチラー 小型貫流ボイラ
EMS制御	熱源最適化制御 冷水二次ポンプINV制御 温水二次ポンプINV制御 冷温水二次ポンプINV制御
運用改善	空調機スケジュール調整 空調機温度設定調整

三重県立総合医療センターでは、2012年7月に「省エネルギー推進部会」を設置し、エネルギー使用の合理化及び地球温暖化防止対策の推進に取り組んでまいりました。今回、ESCO事業を導入することで、優れたノウハウを活かした設計・施行、事業資金計画、維持管理等に関する提案を選定しました。

## 事業者メッセージ

当院は、開院から26年経過し、熱源・空調設備の老朽化に伴うエネルギー効率の低下が進行し、更新の時期を迎えておりました。単純な機器の更新による機能維持だけでなく、同時に地域社会環境に貢献すべく補助事業を利用しての高効率熱源設備の導入を進める事としました。2022年4月より新熱源システムによる運用を開始し、省エネで快適な医療環境を提供すると共に、公的機関の使命として排出CO<sub>2</sub>を大幅に削減することができました。今後も脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

## 省エネ効果

事業所全体の  
エネルギー使用量

**2,564.2**(kl/年)

省エネルギー量	事業所全体の省エネルギー率
<b>410</b> (kl/年)	<b>15.9%</b>
本事業に関わる削減コスト	CO <sub>2</sub> 削減効果
<b>2,334</b> (万円/年)	<b>708.0</b> (t-CO <sub>2</sub> /年)

削減コストはSIIで算出した燃料単価を乗じた価格（電気・ガスのみ）

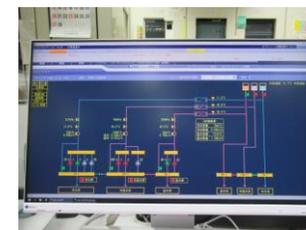
## 主な導入設備



ターボ冷凍機  
冷房能力：879.1kW



小型貫流ボイラ  
ボイラ効率：98%



中央監視室  
EMS画面